



あれよあれよという間にもう2月です。やり残したことはありませんか。  
年度末に向けてのラストスパートです。子どもたちとともに1年間を振り返りながら、次年度の目標が考えられたらいいですね。また卒業生には、いつまでも心に残る行事を計画してみましょう。  
そんなとき、教育ライブラリーの図書や雑誌がお役に立てるかもしれません。  
教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。研究や研修、行事の立案にぜひお役立てください。教育ライブラリーでは、閲覧はもちろん貸出もできます。基本的に土曜日も利用できます。開館予定日は当ホームページでご確認ください。

## 書籍紹介

### ① 「『子ども主体』の土台 子どもと共に学びをつくる学校づくり」

大谷敦司/編著 (明治図書 2025年発行)

学びの自由度を上げる。それが本書のテーマです。「自学自習」「単元内自由進度学習」「個人総合学習」についての総論と5校の取り組みが紹介されています。「子ども主体」の学習が大切とは思いつつ、学びの自由度を上げ子どもに学びを委ねることには不安も多いと思います。自由に学びなさいと言われて子どもたちは自分から学ぼうとするのか。子どもたちに学びを委ねて本当に子どもたちに必要な学力を保障することができるのか。不安は尽きません。

編著者の大谷先生は言います。子どもが有能な学び手であることを信じて学びの自由度を上げようとするとき、必要なことはただ2つ。「理解」と「覚悟」であると。学びの自由度を高めるからこそ、指導者自身の学習内容への理解と子どもたち一人一人の学び方を想定し理解する力が必要であり、子どもたちの学びが想定から外れてきたとしても、無理な軌道修正はせず、子どもの学びの流れや思いに寄り添う覚悟が必要である。

言うは易く行うは難しとも感じられますが、子どもたちが生き生きと学習している5校の実践を見ていると、できるかもしれない、あるいはやってみようという勇気が湧いてきます。

年々不登校の児童生徒が増え、教員を志望する若者が減っている現状を考えると、本書の目指す授業改革の方向性は大きなヒントになるかもしれません。

### ② 「10代と考える『スマホ』 ネット・ゲームとかしこくつきあう」

竹内和雄/著 (岩波書店 2023年発行)

スマホやネットが使えて当たり前の時代、便利さや楽しさの裏側にある不安、依存、トラブルなど課題も山積しています。この本は、「スマホはダメ」と一方的に否定するのではなく、「どう付き合えばいいのか」を10代の目線に寄り添いながら、やさしく、そして現実的に問いかけてくれます。

この本の魅力は、正解を押し付けないところにあります。スマホを使う10代自身が考え、選び、判断するためのヒントが具体的に分かりやすい言葉で示されています。そのため、10代はもちろん、保護者や教師など、大人が読んでも多くの気づきを得られる内容です。

スマホに振り回されるのではなく、スマホを「自身の道具」として使っていくために、今まさに悩んでいる人にも、これから向き合おうとする人にも、ぜひ手に取ってほしい一冊です。

## 雑誌紹介

雑誌名	号	特集等（抜粋）
国語教育 (明治図書)	2月号	<p>【特集】「論点整理」から読み解く2030年からの国語授業</p> <p>◇キーワードでみる「論点整理」のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実</li> <li>・中核的な概念の深い理解による高次の資質・能力の育成</li> <li>・「学びに向かう力、人間性等」の構造的な再整理</li> <li>・質の高い探究的な学びの実現</li> </ul> <p>◇2030年からの国語授業づくりのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実</li> <li>・生きて働く「確かな知識」の習得と見方・考え方の役割</li> <li>・情報活用能力の向上</li> <li>・豊かな学びにつながる学習評価</li> <li>・自分の意見を表現する活動</li> <li>・探究的な要素を持つ活動</li> <li>・多様な子供たちの包摂</li> <li>・デジタル学習基盤を活用した学習環境デザイン</li> <li>・余白の創出とカリキュラムマネジメント</li> </ul>
社会科教育 (明治図書)	2月号	<p>【特集】内容と方法から考える！多様性を包摂する学習デザイン</p> <p>◇社会科における多様性と包摂 教科としての使命とは</p> <p>◇多様性の包摂を可能にする！柔軟なカリキュラム・マネジメント</p> <p>◇「多様性と包摂」と社会科問題学習 「多様性と包摂」の論考で提示される授業と今後の授業づくり</p> <p>◇子どもの多様性を踏まえたアメリカ社会科授業の展開</p> <p>◇SDGsの視点からとらえる！持続可能な社会の作り手の育成を目指す授業デザイン</p> <p>◇デジタル環境の推進から考える！多様性を包摂する授業デザイン</p> <p>◇インクルーシブ社会・UDの視点から考える！多様性を包摂する授業デザイン</p> <p>【連載】大人もハマる最新授業ネタ 経済大国から凋落したアルゼンチン</p>
新しい算数研究 (東洋館出版社)	2月号	<p>【特集】学習指導要領改訂へ向けて今後取り組むべき課題と展望</p> <p>◇事象を数学的にとらえ、数学の問題を見出す力を働かせているか</p> <p>◇論理的に推論する力を働かせているか</p> <p>◇統合的・発展的に考える力を働かせているか</p> <p>◇令和7年度算数教育に関するアンケート調査結果についての分析</p> <p>◇算数教育の新たなフロンティアを切り拓く</p>
数学教育 (明治図書)	2月号	<p>【特集】どうなる、どうする「主体的に学習に取り組む態度」の評価</p> <p>1 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の課題とこれから</p> <p>2 授業で見取る「主体的に学習に取り組む態度」の評価と工夫</p> <p>1年；正負の数、方程式、比例と反比例、平面図形</p> <p>2年；連立方程式、一次関数、三角形と四角形、確率</p> <p>3年；多項式、二次方程式、関数、相似な図形、三平方の定理</p> <p>3 「主体的に学習に取り組む態度」を意識した年度末の通知表所見文例</p>

<p>理科の教育 (東洋館出版社)</p> <p>2月号</p>	<p>【特集】子どもたちへの問いかけの工夫</p> <p>◇理科の授業での問いかけの工夫（小学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びを活性化するための教師の発問 <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもがもっと話したくなるような理科授業を目指して</li> </ul> </li> <li>・子どもの思考を焦点化する発問の在り方</li> <li>・子どもの表現を媒介する対話的な授業の実現</li> </ul> <p>◇理科の授業での問いかけの工夫（中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より科学的に考えさせるための問いかけの工夫</li> <li>・理科ならではの問いかけを取り入れた授業 <ul style="list-style-type: none"> <li>事象から問いかける、気付いて学ぶ活動による実践を通して</li> </ul> </li> </ul> <p>◇理科の授業での問いかけの工夫（高等学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問いかけを設定する指針 目標を意識した問いかけの設定</li> <li>・教師が本気で問いかけ、生徒が本気で応える授業を目指して</li> <li>・高等学校におけるシーン別・観点別問いかけの種類</li> </ul>
<p>英語教育 (大修館書店)</p> <p>2月号</p>	<p>【特集1】辞書を引く・読む・味わう</p> <p>◇英語の海を、編んだ舟で渡る</p> <p>◇「ゆる言語学ラジオ」スピーカーが語る わたしの辞書遍歴</p> <p>◇文学作品の翻訳と辞書</p> <p>◇辞書指導 はじめの一步：どの語を引かせるか・辞書のどこを見せるか</p> <p>◇生成 AI 時代の辞書指導：言葉への洞察力を磨く</p> <p>◇受験指導での辞書活用の意義：辞書携行型試験の問題を例に</p> <p>◇ニッチだけれど手放せない辞書たち</p> <p>【特集2】足場かけに役立つ授業の小ワザ</p> <p>◇支援の質を高めるために知っておきたい 足場かけの6つの視点</p> <p>◇持続可能なコミュニケーションのための「外音化」の導入：中学校でのやり取りの促進</p> <p>◇4 Cs カードを用いたより深いコミュニケーション活動：21世紀型スキルの育成を目指して</p>
<p>道徳教育 (明治図書)</p> <p>2月号</p>	<p>【特集】なぜ、あなたの道徳授業は退屈なのか</p> <p>◇3つのポイントで見えてくる!退屈な授業と熱中する授業の違いとは?</p> <p>「自分の軸」を育てているか 授業が熱中に変わる3つの視点!「思考」「実態」「余白」から授業を設計する 他</p> <p>◇退屈な道徳授業から抜け出すチェックリスト</p> <p>◇退屈な授業の典型パターンと改善ポイント</p> <p>場面ごとに登場人物の気持ちを聴くだけの授業 教材を読み、ワークシートに書いて発表するだけの授業 最初から正解(ゴール)が見えている授業 子どもの意見に深掘りがない授業 他</p> <p>◇教材別 退屈な授業を打破するチャレンジアイデア</p>
<p>授業力&amp;学級経営 力 (明治図書)</p> <p>2月号</p>	<p>【特集】自治・自立のゴールを目指す「学級システム」ロードマップ</p> <p>◇発達段階別自治・自立のゴールを目指す「学級システム」づくりのポイント（小学校低学年・中学年・高学年、中学校）</p> <p>◇自治・自立を視野に入れた「学級開き」のシステム</p> <p>◇学級を自治的集団に育てるための「極小スモールステップ」</p>

		◇時系列でみる自治・自立のゴールを目指す「学級システム」ロードマップ
生徒指導 (学事出版)	2月号	<p>【特集】「いじめ防止対策推進法」をみつめる</p> <p>◇「いじめ防止対策推進法」の成立背景と基本理念</p> <p>◇(現場の声) いじめ防止対策推進法に基づく現場対応の難しさ</p> <p>◇いじめ防止対策推進法の構造的課題</p> <p>◇「いじめ防止対策推進法の理念を浸透させる」とは何か</p> <p>【特集関連企画】子ども家庭庁・文部科学省、いじめの重大化を防ぐための留意事項集・研修用事例集を公表</p> <p>【特別企画】不登校支援の現場データから見る「ネット出席」運用の実態と認定のポイント</p> <p>【インタビュー】脳科学者が語る「読書の真価」 AI・デジタル時代に子どもたちの「脳」と「心」を育む読み方</p>
教職研修 (教育開発研究所)	2月号	<p>【インタビュー】できないに「異彩」を眼差す</p> <p>【特集1】「働き方を自分で決める」改革 新「3分類」を足がかりに、「働き方改革」のゴールを探る</p> <p>◇新「3分類」のポイントと校長の役割・責務</p> <p>◇「働き方改革」のジレンマを乗り越える</p> <p>◇〔提言〕「こう働きたい」を選べる学校へ</p> <p>【特集2】信頼×感謝で臨む 納得の期末面談</p> <p>◇ネガティブ・フィードバックをする際の心がけ</p> <p>◇わかりあえない他者と向き直す対話の意義</p> <p>◇傾聴と共感をもって、相手が安心して話せる土台づくり</p> <p>【連載】◇未成年者に対する SNS の利用制限 オーストラリアの挑戦</p> <p>◇学校づくり羅針盤 職員の力を引き出す仕上げのリーダーシップ</p> <p>◇「問いから始まる教育」と「問いに向かう教育」</p> <p>安藤昭子『問いの編集力ー思考の「はじまり」を探究する』より</p> <p>◇不登校の論点 戸田市の誰一人取り残さない教育を目指した実践</p> <p>◇検証 12年目のいじめ防止法 いじめ問題が大きくなならない学校の特徴</p>
初等教育資料 (東洋館出版社)	2月号	<p>【年頭の所感】文部科学大臣 松本洋平</p> <p>【特集1】学習指導要領実施状況調査結果を踏まえた学習指導要領の改善・充実② 図画工作科 家庭科 体育科(運動領域・保健領域) 外国語科</p> <p>【特集2】我が国や郷土の音楽の指導の充実</p> <p>◇我が国や郷土の音楽の学習をいかに充実させるか</p> <p>◇教科横断的な視点で地域の民謡により愛着をもてるように工夫した歌唱の実践</p> <p>◇日本特有の「おとし」のリズムを生かした音楽づくりの実践</p>
中等教育資料 (学事出版)	2月号	<p>【特集】〔高等学校〕各教科等を交えて語り合う⑤ 各教科等横断的な取組の充実 地理歴史科 家庭科 工業科</p> <p>【連載】◇五感で探る花と人生のレイメイキング</p> <p>◇デジタル学習基盤を活用した授業改善と校務 DX の実践 新潟県立国際情報高等学校</p>

		<p>◇男鹿の風土を教育資源として生かし地域に貢献できる人間の育成</p> <p>◇特別支援教育コーナー 高等学校の通級による指導における自立活動の指導の充実</p>
実践みんなの特別支援教育 (Gakken)	2月号	<p><b>【特集】</b> 知的障害のある子の社会性を育てるスクリプト指導</p> <p>◇子どものニーズを生かして行動問題を改善する打ち合わせスクリプト</p> <p>◇自分の経験を表現するためのパーソナルナラティブの支援</p> <p>◇他者の好みの理解がやりとりにもたらすのか</p> <p><b>【連載】</b> ◇ちょっと先どりしてみよう！ 働き方改革と学習機会の拡大</p> <p>◇楽しく学べる教材いろいろ 数の「じゅんばん」と数の「かいだん」</p> <p>◇伴走型相談所 アンチワーク派の働き方と教育者としての姿勢 後編</p> <p>◇分断を映画で溶かす みんなが人生の主人公になるために</p> <p>◇実践紹介 重度知的障害のある児童への卒業式に向けた行動支援</p>
特別支援教育研究 (東洋館出版社)	2月号	<p><b>【特集1】</b> 「遊びは学び」学校で思いっきり遊ぶ！</p> <p>◇幼児教育から「遊びの指導」への展望 ◇「学校でめいっぱい遊ぶ」を支える教師集団の悩みとまなざしの重ね合い ◇“どの子どもも”“何人でも”“遊び心をくすぐる”を実現するための場の工夫 ◇作って 遊んで 友だちいっぱい ◇再興！「遊びの指導」</p> <p><b>【特集2】</b> 特別な配慮を必要とする子供たちがその可能性を最大限に伸ばすための指導・支援及び、将来の自立と社会参加に必要な力を育成するための適切な指導・支援を目指して〔座談会〕</p> <p><b>【連載】</b> ◇所見の書き方、評価の書き方 指導要録への記入の際の留意点</p> <p>◇教材・教具の定番レシピ 「日常生活の指導」の教材・教具・補助具の活用レシピ Part 1</p> <p>◇各教科等を合わせた指導1・2・3 身体を動かして遊ぶ「遊びの指導」</p> <p>ジャングルや海の生き物をテーマにした実践例</p> <p>◇我が校の自慢・逸品・優れ技 ポーチ&amp;バッグ 福岡県立特別支援学校</p> <p>◇はじめまして！ 香川県立小豆島みんなの支援学校です！</p> <p>香川県特別支援教育研究会会長 藤田明</p> <p>香川県立小豆島みんなの支援学校教頭 三宅貴将</p>
高校教育 (学事出版)	2月号	<p><b>【特集】</b> 多様性を包摂する高校へ</p> <p>◇多様性を基盤に据えて、学校の在り方を根本から見直す</p> <p>◇多様性を包摂した新学習指導要領に向けて</p> <p>◇高校での外国人生徒教育の今 多様性の包摂を目指して</p> <p>◇様々な困難を抱える生徒たちを「教育」で支える</p> <p>◇様々な温度差を乗り越えて進めるインクルーシブ</p> <p><b>【巻頭インタビュー】</b></p> <p>教員不足時代に知っておきたい「教員の休職指導要領」(上)</p> <p><b>【連載】</b> ◇2040年、教育の旅 生成AIは教育の敵か</p>
道徳と特別活動 (文溪堂)	2月号	<p><b>【特集1】</b> 今、学校管理職ができることは何か</p> <p>学校全体で道徳科と特別活動の充実を図るために</p> <p>◇道徳科を学校全体で推進していくための校長の役割</p> <p>◇特別活動を学校全体で推進していくための校長の役割</p> <p>◇若い先生方への指導をどのように行うか</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇保護者や地域の方の理解を深めるためにはどのようにすればよいか</li> <li>◇管理職の見えないところで若手教員はこう考えている</li> <li>◇若手教師を中心にした校内研修の充実</li> <li>◇持続可能な社会参画意識を育てる学校環境づくり</li> <li>◇描いた未来を形にする年間指導計画の作成</li> <li>◇『自ら人生を舵取りする力と民主的な社会の創り手の育成』を目指して</li> <li>【特集2】あたたかな心と豊かな人間関係をはぐくむ道徳・特別活動</li> <li>全国道徳特別活動研究会全国研究大会に向けて</li> </ul>
<p>学校事務 (学事出版)</p> <p style="text-align: right;">2月号</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【特集】学校事務職員のためのクレーム対応術</li> <li>◇知っておきたいクレーム対応の基本</li> <li>◇「ヒト」「モノ」の観点で適切な線引きを</li> <li>◇子どもに関わる問題を学校と行政の連携で解決する仕組みづくり</li> <li>◇「敵対」から「協働」へ 関係性を修復する関わりを担うコーディネーター</li> <li>【インタビュー】学校防災充実のために学校事務職員ができることは？</li> <li>【特別企画】学校事務職員から校長となった私から伝えたいこと（前編）</li> <li>【連載】◇大切なことは伝え続ける CSマイスターの活動から</li> <li>◇気になる教育トピック</li> <li>文科省の「給特法等の一部改正の施行に向けた通知」の内容②</li> <li>◇働き方改革の第一歩 物を探す時間の短縮と環境整備による業務改善</li> </ul>
<p>指導と評価 (日本教育評価研究会)</p> <p style="text-align: right;">2月号</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【特集1】多様な子どもたちを包摂する学校教育</li> <li>◇多様性を包摂する学校教育の在り方</li> <li>◇不登校児童生徒への支援の充実に向けて</li> <li>◇通常学級から始めるインクルーシブ教育</li> <li>◇特異な才能のある児童生徒への支援・指導</li> <li>◇外国人児童生徒等への教育の充実に向けて</li> <li>【特集2】夜尿症への学校生活の支援</li> <li>◇夜尿症の疾患としてのメカニズム</li> <li>◇夜尿症と神経発達症の子どもたちをどう支えるか</li> <li>◇夜尿症と学校生活への影響 国内外の研究から</li> <li>◇安心して参加できる宿泊行事へ</li> <li>◇子どもと保護者への心理的影響とその対応</li> </ul>